

グローバルスタディーズ入門Ⅱ

科目ナンバリング INR-102
選択 2単位

大場 麻代

1. 授業の概要(ねらい)

今日、私たちの生活はグローバル化の影響を大きく受け、日常生活において諸外国との結びつきを強く感じないではいられません。他方、私たちはある製品がいかんにかして作られ、また現地の人びとがどのような生活を送っているか知ることは寡少です。本授業では、我々が日常手にするチョコレートや衣類を題材に、どのような工程を経て製品化されているのか学びます。その際、生産者側の日常生活を理解していきます。その上で、フェアトレードについて学び、果たしてフェアトレードはどの程度生産者側の生活改善に寄与しているのか、批判的な視点と併せて学びます。本授業を通して受講生は児童労働問題や環境問題、消費社会の課題など、広くグローバルな課題について学びます。受講生には発言が多く求められる授業です。

2. 授業の到達目標

- 1) 現代社会が直面する様々な課題をSDGsと関連づけ理解することができる。
- 2) グローバル社会における国家間の複雑な相互依存関係について理解し、客観的な視点を持って分析できる。
- 3) フェアトレードの概要を他者に説明でき、かつ、批判的思考で課題を抽出できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業中の発言/発表(50%)、期末の課題(50%)で総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

なし(プリント配布)

参考文献

- ① 長坂寿久(編) 「フェアトレードビジネスモデルの新たな展開—SDGs時代に向けて」 明石書店
- ② 箕面在弘 「フェアトレードの人類学」 めこん
- ③ 渡辺龍也 「フェアトレードの形成と展開—国際貿易システムへの挑戦」 『現代法学』第14号3—72頁。
- ④ フェアトレード・ジャパン <https://www.fairtrade-jp.org/>
- ⑤ 日本フェアトレード・フォーラム <http://fairtrade-forum-japan.org/wp-content/uploads/2019/10/265e39faa78ff62d9fb9ef5661682779.pdf>
- ⑥ Fairtrade International <https://www.fairtrade.net/>
- ⑦ UN, Department of Economic and Social Affairs <https://sdgs.un.org/goals>
- ⑧ 外務省, JAPAN SDGs Action Platform
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>
- ⑨ ユニセフ, SDGs Club <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/>
- ⑩ 国連広報センター, SDGs報告書要約
https://www.un.org/ja/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_report/
その他適宜紹介

5. 準備学修の内容

授業では多くのトピックに触れますが、すべてを説明することはできません。自主学習し、調べた内容を翌週の授業で積極的に発言/発表してください。

6. その他履修上の注意事項

受講生が主体的かつ能動的に学修していく授業を展開します。積極的な授業参加や授業内での発言に加え、グループ活動を通じて他者と協働する姿勢が求められます。各回の授業内容はあくまで目安です。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(授業の目的、15回の流れ、成績評価など)
持続可能な開発(SDGs)について
- 【第2回】 チョコレートの工程—生産から商品化まで—
- 【第3回】 カカオ生産者の日常
- 【第4回】 カカオ生産に潜む課題—児童労働について—
- 【第5回】 児童労働を考える
- 【第6回】 フェアトレードとは何か
- 【第7回】 衣類の工程—生産から商品化まで—
- 【第8回】 コットン生産者の日常
- 【第9回】 コットン生産に潜む課題
- 【第10回】 衣類の仲介業者・販売者・消費者
- 【第11回】 映像視聴—ファッション業界の裏側
- 【第12回】 映像から考えるファッション業界の今とグローバル化の課題
- 【第13回】 フェアトレード再考
- 【第14回】 期末の課題
- 【第15回】 目標達成の振り返り